

REPORT

1 官民連携で「岐阜公園」を再整備 にぎわい創出の公園に

岐阜公園へさらに観光客を呼び込むため、岐阜市は「岐阜公園官民連携にぎわい創出事業(Park-PFI)」に取り組みます。名古屋鉄道株式会社を代表とし、特定非営利活動法人ORGAN、岐阜観光索道株式会社、岐阜乗合自動車株式会社などの法人によって構成されるグループと基本協定が締結されました。官民連携で岐阜公園を再整備し、地産地消メニューのあるレストランやカフェ、岐阜らしさを発信できる商品を取り扱う売店の設置、イベントなどを行う芝生広場を整備して、新たなにぎわいを創出します。新しい施設は令和7年3月のオープンを目指しています。

Concept

開発コンセプト

「岐阜」^{たしな}を嗜み、OMOTENASHI を堪能する

Point

開発のポイント

- ・観光拠点・市内回遊の中心機能を促進する施設づくり
- ・自然・歴史・文化的資源と調和した施設づくり
- ・市民の豊かな日常を彩る賑わい拠点づくり



どんな岐阜公園になる？

- ・レストラン、カフェ、売店は10店舗
- ・500㎡の芝生広場
- ・地域情報を発信するデジタルサイネージを設置
- ・季節に応じたイベントや企画

「岐阜市歴史博物館」もリニューアル

岐阜公園の再整備事業に合わせ、岐阜市歴史博物館がリニューアルされます。岐阜市の歴史文化を活用し、市民とともに岐阜市の魅力を発信できる博物館を目指します。

コンセプトは「あっ!これ好き!“ぎふ楽”」。本物の資料の展示、城下町の再現、古墳のボールプールなどを通じて、当時のリアルを体感しながら、岐阜の魅力に気づき、歴史を深めて楽しめる施設になります。



【ぎふタイムマシン】
路面電車に乗って戦国時代へタイムトリップ!



【戦国コレクション】
「本物」の戦国時代の資料を定期的に入れ替えながら展示します。

REPORT

2 オンラインフリースペース「メタバース教室」

岐阜市教育委員会は不登校の児童生徒らの居場所となるインターネット上の仮想空間「メタバース教室」を整備します。教室は週2回開き、児童生徒は顔を出さずにアバターで参加。学習支援ソフトを使った学びやチャット機能を使った交流などができるようにし、参加した生徒は指導要録上の出席扱いにします。

これまで、22年度にメタバース教室の実

証を行い、23年度は4回開催。「ここしかしゃべれない」「安心して過ごせる」など、児童生徒及び保護者からのニーズや期待が大きかったとのこと。

また、市立中学校ではリアルな生徒の居場所となる「校内フリースペース」の整備も進めており、岐阜市は誰一人取り残さない不登校対策に取り組んでいます。



相談員が1対1で対応する「相談ルーム」、何人かで話ができる「フリートークルーム」、身近なものから学ぶ「授業ルーム」を設置。ニーズに合わせて部屋を開設。